

研究室名	棚本研究室 学会発表
------	------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	3/24/2023
学会名	物理学会2023年春季大会
演題名	[24aD1-5]グリーン関数法を用いた量子準位測定系としての多量子ドット系の理論的考察
発表者	○ <u>棚本哲史</u> , 青野友祐
内容	量子ドット (QD) システムでは、ナノ構造のさまざまな物理を提供する。半導体QD 構造は、実験と理論の両方から詳細な分析が行われている。現在、量子コンピューターの量子ビット系の単位として半導体 QD 系が注目されている。多数の QD がある場合、一部を量子ビットに、そして残りを測定デバイスとして使うことも考えられる。ここでは量子ビットに加えて、測定デバイスとしての QD 系に注目する。具体的にはターゲットとする QD のエネルギーレベルの測定装置として、サイド QD システムをグリーン関数法に基づき理論的に検討した。